

○ 田 山 藤 丸 (20分)

【一問一答方式 (2回目から)】

1 若者の定住促進について

- 定住人口増減率の分析
- 学生の地元企業とのマッチング
- 公園遊具、屋内遊び場の在り方

2 次期都市計画マスタープランについて

- 水陸機動団を取り巻く環境整備
- 相浦土地改良区の現状と今後の可能性

3 自治体シンクタンクの役割と大学連携について

- 政策推進センターの設立意義と今日までの成果
- 大学との連携の在り方

○ 松 尾 俊 哉 (15分)

【一括方式】

1 公共施設の複合化について

- 複合化に向けての進捗状況について
- 複合化により生じる利用することのない建物や敷地等の利活用について

2 必要となる人材の確保について

- 合併町の支所における職員削減が実施されるとのことだが、住民サービスの低下とはならないのか
- 職員の休暇時の対応はどのようにするのか
- 特殊技能を必要とする人材の確保について

3 地域医療体制について

- 総合医療センターにおいて「7：1」看護体制の確保が出来なくなりつつあると聞くが、現状はどうなっているか
- 医師確保のための寄附講座の設置をはじめ、医療従事者確保のための取組をされているが、その効果はどうか
- 看護師の人材確保策について

○ 鶴 大 地 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 「Society5.0」の実現について

内閣府の第5期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された「Society5.0」の実現に向けた本市の考えをお伺いします。

- 「GIGA スクール構想」について
- 「スーパーシティ構想」について
- 「キャッシュレス社会」について

2 「赤ちゃんの駅」整備の必要性について

「佐世保市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標Ⅲ「多様なライフスタイルにあわせた結婚・出産・子育ての希望をかなえる」では「地域全体で子育てをサポートできる環境づくりを行っていくことで、あたたかく子どもと子育てを支えるまちづくりを進めます。」とあります。より良い環境づくりのために、「赤ちゃんの駅」の整備が必要だと考えますが、本市の考えをお伺いします。

○ 角 田 隆 一 郎

(3 0 分)

【一括方式】

1 考古学学会の誘致について

- 福井洞窟ガイダンス施設（仮称）のオープンは、「日本一の洞窟のまち」をアピールする絶好の機会であり、I R誘致を行っている現状でのコンベンション誘致の実績づくりとしても考古学学会を誘致すべきだと考えるが、その認識について問う。
- 福井洞窟ガイダンス施設（仮称）のオープンに伴い、食事場所、休憩場所、お土産店などおもてなし施設として近隣の公共施設等を活用できないのかを問う。

2 J R九州の株を取得することについて

- 九州新幹線西九州ルート運用に伴い、佐世保～博多間の特急みどりの直通運行が維持できなくなる可能性があるため、佐世保市が株主となり、J R九州と直接交渉、情報交換ができないのかを問う。

3 おくすりネット長崎の導入について

- 患者の調剤情報を共有し、投薬の重複や併用禁忌のチェックによる安全・安心な環境の構築について問う。

4 健康診断の促進について

- 健康寿命を維持するため健康診断を推進し、特に小中学校の女子に対して乳がん検診に使う模型を使って乳がんの早期発見に役立たせるなど、若年期から健康診断の重要性を認知、啓蒙させる取組状況について問う。